

# 金木町企画室

青森県北津軽郡金木町  
大字金木字朝日山323  
電話 532111 (代表) 内線40



## B & G 財団 金木海洋センター いよいよ着工

モーターボート競走の収益金で青少年を対象としたスポーツ、レクリエーション事業を中心に、豊かな人間形成と体力向上を図る施設建設を進めている財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団(笹川良一会長)で金木海洋センター(ブルー)建設を決定し、十一月十二日農業者トレーニングセンターで起工式が催されました。

B & G 財団が建設する地 及び、健康と心身を鍛える城海洋センターは金木町を 施設として多くの方に利用含め全国二百七十六カ所に されています。

### 財団金木海洋センター建設



起工式は、B & G 財団鈴木武理事や古川町長のほか原田一実、長峰一造両県議など関係者二百人が出席しておごそかに行われ、古川町長がクワ入れをし、工事の安全を祈りました。

今回の神事会場は、北側に青白幕。他三方は紅白幕がズラリと張られ、町一番の広さを持つ体育館も紅白ずくめという見事な神事場となり、出席した行政協力員から感嘆の声が上がる程でした。

神事のあと立食で直会が催され、鈴木理事のあいさつに続き東北運輸局青森海運支局の阿部金孝支局長が来賓を代表して祝辞を述べました。

このあと、古川町長が、「緑豊かな大地のオアシスをキャッチフレーズに町民の体育、健康、幸福の実現を図る拠点にし、多に利用したい。」と謝辞を述べました。



くわ入れをする古川町長

B & G 財団金木海洋センター建設のこれまでの経緯は、昨年十一月二十六日に B & G 財団に陳情書を提出し、今年五月、昭和六十年建設が書類審査で選外となり危ぶまれました。

しかし、その後、八月二十四日、五ヶ所追加整備する旨の文書が入り、建設の内定までに二回の現地調査が行なわれました。このあと十月に入ってから建設の内定があり、十月十三日に開かれた B & G プラン説明会には、約三〇〇人の町民が会場の中央公民館に詰め掛け、屋内プール建設にかかる意気込みを伺がわせました。

### 来年6月オープン

この甲斐あってか、十月二十一日には、B & G 財団笹川良一会長から昭和六十年(第十四期)金木海洋センター建設の決定書が、古川町長に手渡され、今回の起工式となり、来年五月末完成を目標に着工される運びとなりました。

同センターは、金中用地の一角と公園駐車場の一部にかかり建築面積が一、〇三八・四二㎡(約三二五坪)で、内部は、二五メートル、六コースのプールと幼児用プールが設けられ、上層付プールとあって九月下旬まで利用できます。

# 町民文化祭り の町民で賑う

「第十一回町民文化祭り」と「第五回町産業まつり」が、さる十一月二日〜四日までの三日間、中央公民館とトレーニングセンターを会場に行われ、延べ約五千人の町民で賑いました。

中央公民館では、保育所や児童館、幼稚園児らによる学芸発表会が催されたほか弘大児童文化研究会による人形劇、職場対抗カラオケ音楽祭なども催され連日大入満員を記録しました。

また、絵画、書、手芸、ワラ細工など町民の力作コ



ナーも好評で、作品に見入る人でごった返していました。

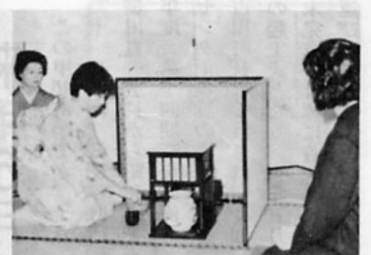
一方、農業者トレーニン  
グセンターでは、豊作もち  
つき大会、仔豚大レース、  
農産物品評会などが催され  
たほか、農産物を利用した  
お菓子や漬物など、カッチ  
ヤの味自慢がズラリと展示。  
作り方をメモする主婦が目  
立ちました。

また、玄関前では、取り  
たての新鮮な野菜が即売さ  
れ、市価より二〜三割安い  
とあって飛びように売れて  
いました。

入賞者は次のとおりです。

- ▼書道、金賞Ⅱ荒関美智子 (金小一) 泉谷まき (川小一) 木村あやえ (嘉小一)
- 黒滝こずえ (金小二) 杉山圭子 (同) 泉谷友孝 (川小一) 一戸郁哉 (金小三) 秋元真紀子 (嘉小三) 外崎時子 (喜小三) 久保田真 (金小四) 泉谷有香 (川小四) 古川裕子 (喜小四) 加藤五月 (金小五) 山中幸樹 (嘉小五) 今紀利子 (喜小五)
- 葛西千雪 (金小六) 鎌田法子 (嘉小六) 今陽子 (喜小六) 泉谷美好 (金中一) 加藤多恵子 (金中二) 外崎恵実子 (金中三)

- (金小二) 秋村まさひろ (嘉小二) 桑田しんじ (喜小二) 津川友紀 (金小二) 花田和秀 (嘉小二) 今崇弘 (喜小二) 成田雅彦 (金小三) 白川豊仁 (川小三) 伊藤真奈美 (喜小三) 池田直人 (金小四) 澤田英子 (嘉小四) 芦田嗣己 (喜小四) 白川千尋 (金小五) 山中幸樹 (嘉小五) 斉藤純也 (喜小五) 小野守人 (金小六) 泉谷由佳子 (川小六) 鎌田隆司 (嘉小六) 石戸谷由香 (金中一) 尾野隆雄 (金中二) 小山内順也 (南中三)
- ▼工作、金賞Ⅱ田中優 (金一位) 車力リバー金木工場



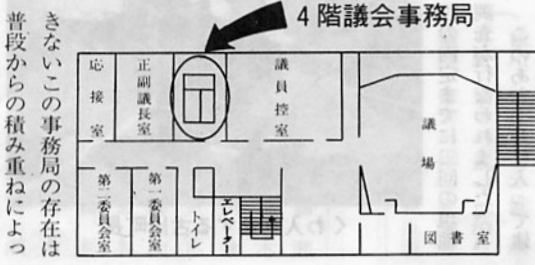
- ▼職場対抗カラオケ大会 一位 車力リバー金木工場
- ▼将棋大会 最優秀個人賞Ⅱ太田雅文 (今俊弘、伊藤清治)
- ▼小学校の部①齊藤大啓 (金小五) ②松川憲親 (嘉小六) ③鎌田隆司 (嘉小六) 川口泰広 (金小五) ④中学校の部①松川知道 (南中一) ②小林光信 (金中二) ③伊藤香津夫 (南中二) 木下祐樹 (南中二) ④一般の部①中村呈②木村治利③久保泰太郎、田中輝夫

## やんぱのくま

### 議会を縁の下から支える議会事務局

議会は、町の議決機関として執行機関と共に責任を分担し、皆さんの要望にこたえるため社会福祉の充実、生活環境の整備等、健全な町政発展を願い、常任委員会や特別委員会を組織し、活発な活動を展開しています。

議会事務局は、町民の代



きないこの事務局の存在は  
普段からの積み重ねによっ



# 第11回 第5回 延べ5,000人



▼農林産物品評会、金賞  
中谷兼行(葉たばこ) 其田  
サヨ(玄米) 泉谷タマエ(栗)  
斉藤保美子(ネギ) 泉谷有  
香(こほう) 白川レツ子(白  
菜) ▼生活改善部門、奨  
励賞 竹内久美子(ワラビ

となめこ) 中村リツエ(豆  
腐のハムチーズ) 宮崎やゑ  
かほちやのようかん) 棟方  
タミ(漬物) 原田富枝(こし  
もち) 其田いく子(にんに  
くこはん) 中谷ミツ(かほ  
ちやのスープ) 小林停(ア  
ップルパイ) 山中トシエ(か  
ぼちやもち) 秋示トシ(み  
ぞ漬) アイデア賞 前田泰  
子(大豆とシーチキンのケ  
ーキ) 増田茂子(牛乳ハン  
バーグ) 沢田さつ(あげい  
わし大根) 泉谷カツノ(と  
うもろこしのおこわ) 泉谷  
加千子(あげびのハンパー  
グ) 山中昭子(野菜ケーキ)  
沢田栄子(りんごのちま  
き) 秋元愛子(かほちやビ  
スケット) 加藤安子(あん  
入り二色米菓子) 白川要子

(にわとり)。ふるさと賞 加藤札子(りんごのパイ) 中村ハギエ(なんばのつくた煮) 白川哲子(つけもの) 神島りゑ(梅干漬) 毛内レツ(しその葉もち) 沢田ハナイ(ふなのからあげ) 小野キミエ(いわしのごもく) 鳴海ヒサ(すりみの巻きむし) 平川タケ(スリカスモチ) 白川キヨ(きゅうり漬)。  
▼水稲良質多収共助会の部 最優秀賞 榊引政雄。優秀賞 白川峰雄、泉谷好身。優良賞 原田繁福、秋村米太郎、岡田勲。努力賞 工藤文裕、浅利清美、成田好勝、秋元浩、泉谷雅彦、白川権四郎、工藤栄一、坂本一志、浅利勇。  
青森県知事賞 榊引政雄、斉藤保美子。金木町長賞 榊引政雄、山中トミエ、其田タヨ、泉谷有香、白川レツ子。金木地区農業改良普及事業協議会長賞 増田茂子、田中孝一、原田尚。青森地方葉たばこ耕作組合長賞 中谷兼行。青森県農協中央会長賞 白川峰雄、泉谷好身。青森県経済農協連合会長賞 原田繁福、秋村米太郎、岡田勲。

て、議会という町の議決機関を縁の下から支えていることになりました。  
(常任委員会)  
▼総務企画常任委員会五人  
▼教育民生常任委員会五人  
▼土木常任委員会 五人  
▼農林商工常任委員会五人(特別委員会)  
▼ばんえい競馬事業促進特別委員会 八人  
▼企業誘致促進特別委員会 十二人  
管理職の  
プロフィール  
議事事務局長  
農業生産力の発展を願う農業委員会

達坂 伸三(51)  
昭和9年10月16日生まれ  
無趣味が趣味?  
でも誘われれば……。  
私の一言: 日常勤務している議会事務局がどこにあるのかさえ知らない方が案外多いのではないかと思います。しかし、皆さんと全く無縁ではなく、資料収集時には何かとお世話になっていく訳で、一番接触が多いと自負?しています。  
議会会期中に傍聴を希望する方は、役場四階の議会事務局へお越しください。  
農業委員会は、農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図り、農民の地位の向上に寄与するため全国の都道府県と市町村に設けられています。  
金木町農業委員会は、選挙で選出される十五名と議会議選出の学職経験者二名(五名以内)、農業団体六名からなる二十三名が三年の任期で組織されています。  
主な仕事を例示すると、  
①農地の売買、貸借に関する  
②農地転用に関する  
③農用地利用増進に関する  
④農地等の利用関係についてのあつ旋及び紛争の防止に関する  
⑤国有農地の払下げに関する  
⑥農地等取得資金、自作農維持資金貸付に関する  
⑦農家基本台帳の整備及び保管に関する  
⑧農業者年金に関する  
⑨諮問答申、建議及び意見の公表に関する  
こと。が掲げられます。  
農業委員会事務局は庁舎三階で四人の職員がこの事

### 3階農業委員会

務処理に当たっています。  
農業経営規模が機械の大  
型化に伴って拡幅されて来  
た今日、農業委員会の持つ  
役割も一段と重要視されて  
来ました。  
管理職の  
プロフィール  
農業委員会事務局長  
葛西 謙一(49)  
昭和11年8月25日生まれ  
四十代最後の年になりま  
した。そろそろ酒ツコも……。  
私の一言  
農家のみなさん農機具の  
過剰投資はやめて共同利用  
をしましょう。  
又老後のために農業者年  
金に加入しましょう。



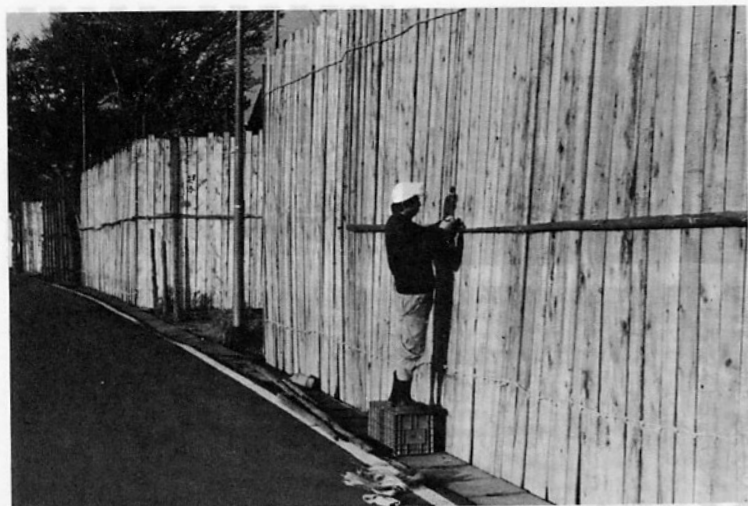
# 千六百メートルに及ぶ「ひば」の砦

## 「藤枝のカッチョ」

約七カ月間にわたる農作業を終えると出稼ぎ準備。

取穫期の喜びもそこそこに冬仕度にいち早く取り掛かるのが、ここ藤枝地区です。名物?のカッチョ作りは、心の高さ四七メートルの

早くも四カ月間の雪との闘いを物語り、ここだけが特別地域のような錯覚を引き起こします。雪が吹き付ける西側を中



これで冬仕度は万全

板がビッシリと組まれた光景を神原方面から見るとまさに大きな砦となつて映り、これから確実に始まる雪との闘いを示しています。南北に長さ千六百メートルにもわたって続く藤枝のカッチョは、もちろん特産のヒバ材を使用しており、三十年は有に使えるというヒバの耐久性を実践しています。爺様も使った板で、まだまだ使える。」と工藤さん。

## カッチャが一家の主

一家の主は、雪の季節到来によってカッチャにバトンタッチ。田んぼで父ちゃんと一緒に働いている時が一番良いみたい。」と小山内さん。雪投げ、薪割り、時には、冠婚葬祭の出席など何んでもこなすたくましいカッチャに一変します。金木町における冬期出稼ぎ者は、約二千二百人。人口の十五パーセントで、仮

今年は例年より早く、十月中旬にカッチョ作りがピークとなり、これが終わった下旬にはもう出稼ぎに出發。五十八戸のうち約八割が出稼ぎ生活を続けています。「出稼ぎは即現金収入になるし、稲だけでは不安だ。」と工藤さん。「子供達のことを考えると出稼ぎはしたくない。しかし農家の経費が機械の大型化によって大きくなり一日たりとも遊んでいられない。」と成田さん。これからの農閑期に家族一諸にくらす農家は、この地区では数える程しかなく、「男が働ける大きな工場でもあったら。」と工藤さん。

りに二十才から五十九才までの労働者に限定すると約三十パーセントで、高齢者、未成年者を除くと三人に一人は出稼ぎしていることになり。いつもながら考えさせるこの時期、出稼ぎは今や習慣なのでしょうか。藤枝地区のカッチョが大きな砦となり、冬の金木町を物語っているようです。

## 県青年の船体験記①

十月二十日青森港から出航した「県青年の船」に乗船した一行は、韓国の釜山、慶州、フィリピンのマニラを見学し、現地青年と国籍を越えた友情の和を広げ、十一月六日無事帰港式を迎えました。

## いろいろな障害を乗り越切った「青年の船」

川倉 中谷 吉範



入ると多々の行事を団員全員が一致団結し盛り上げ、四百人という大所帯が生活していくにはしかたのない最少の規則のようであった。

研修参加の感想文を書くにあたり「青年の船」を企画された県、そのために協力してくれた市町村、又それに理解を示してくれた職場のみなさんには心から感謝している。事前研修等で行事の多いこと、規則の厳しいことを知り十八日という期間が自分にとってどのようになるのか、まったく見当もつかず不安のまま「新さくら丸」に乗船したが、いざ研修に



# 「架け替え」神田橋 昭和六十五年度を目標に起工式

北郡と西郡を結び、産業と文化の交流に重要な役割りを果たしてきた神田橋が老朽化と河川改修事業に伴い、県は昭和五十六年度から新橋架け替え工事を進めていきましたが、今年度いよいよ橋脚工事に着手。工事の安全を祈って、さる十月二十二日起工式が行われました。

神田橋架け替え工事は、昭和十年に架けられた現神田橋が五十年の歳月と共に自動車の大型化と増加により床版破損が著しく、これまでに補修のつど通行止め。さらに大雨などによる増水時には、流失の不安があるとして通行止めを繰り返して社会生活に深刻な影響を与えてきました。

このため、県では、岩木川河川改修事業のネックとな

なっていることもあって昭和五十六年度から架け替え工事に着手していたものでこれまでに金木側の取り付け道三百メートルと稲垣側三百メートルの盛り土がほぼ終了し、今年度から橋の心臓部である橋脚工事に入ることになりました。

起工式は、新橋の建設される現神田橋の下流約三百メートルの河川敷を会場に金木、稲垣、車力の町村長ら約五十人が出席して神事と共に今井光男県土木部長監がくわ入れの儀式を行いました。



工事の安全を祈って乾杯

## 幅員は約2倍

### 歩道も併設

神事のおと、町中央公民館で、西北五選出の県議や関係者約百五十人が出席して式典と祝賀会が催され、席上古川竹夫町長が「津軽北部の穀倉地帯を結ぶ新橋として生まれ変わる神田橋のご尽力に対し深く感謝する。起工した新しい神田橋は

今後、広域流通の基礎とすべく、地域住民のために役立てたい。」と式辞。山館五所川原土木事務所長が工事計画の概要を述べたあと、米賣を代表して成田一憲県議らが祝辞を述べました。

主要地方道屏風山一内真部線に架かる稲垣村繁田を起点とした全長三八九、五メートル、幅員十メートル（車道七、五メートル、歩道二、五メートル）のRC逆T式鋼板橋で、現橋のコンクリート橋幅員五、四メートルに比べ大幅に拡幅、補強されることになり、昭和六十五年完成を目標に総工費約二四億七千四百万円が投じられます。



韓国釜山市内で

な形で立っていた。船内研修では揺れる船での運動会。各界の先生の講話・講義。下着に色を付けてしまった洗たく。毎回のようについでくるナイフとフォークで頭をかきハシをもらった初日も後半はスイスイ出来た食事の豪華さ。津軽弁のハンデイ、又はよい面を知った各地方の方言。台風を横切った為みんなでした船酔い。韓国釜山副市長、フィリピンの観光大臣が出席されて盛大に行なわれた交流会。高齢化社会と青年について頭を悩ませたセミナー別会議、青少年活動について検討し討論したフォーラム別会議やブロック別会議、カメラを持っていない自分が現像の仕方まで覚えたくクラブ活動、組別別会議、講師を囲んで語る会等々。短期間で出来たのが不思議なくらいである。

最終日が押迫るにつれ楽しさが増えるという反比例も、とうとう解団宣言まで滞りなく終ってしまつたが最後に同じ職場、年代層の人が多数参加していたので職場についての話し合いも出来、いろいろな障害を乗り越つた「青年の船」での研修で何かを得たようであるが今では、まったく自分でも分からないというのが本音である。それはこれからの職場、地域での活動で出てくることを自分で一番期待している。



# 名実ともに日本一をめざして

## 「大豆に関する講演会」

大豆の良質多収を図ろう。と金木町転作事業連絡会議（沢田茂会長）では、さる十月三十一日、小田川土地改良区の会議室を会場に、町、県、県経済連の共催で、「大豆に関する講演会」を開きました。

この講演会は、東北農業試験場の橋本鋼二農学博士を講師に「北東北における大豆の多収栽培について」と題し、適正品種の選定から播種、土壌改良など具体的な内容を示して行われたもので、約百二十人の農家が熱心に聞き入っていました。

橋本農学博士の講演は、地方、国別平均収量の推移を示した一覽表などを基に①適正品種の選定と良種子の準備②好適な栽植密度の確保③播種期間④中耕培土の励行⑤輪作体系。など事例を上げながら詳細にわたって説明。特に金木町のような寒冷地栽培での留意事項なども折り込まれ具体的に

大豆の良質多収を図ろう。と金木町転作事業連絡会議（沢田茂会長）では、さる十月三十一日、小田川土地改良区の会議室を会場に、町、県、県経済連の共催で、「大豆に関する講演会」を開きました。



富んだ講演となりました。金木町における転作は、集団を昭和五十六年から八

良市一）を設立し、大豆の生産性向上と営農活動の促進及び生産条件の整備を目的とした大豆新技術体系定着化促進事業など、国の補助事業で機械を導入。水系列、一年毎のプロックローテーション方式により、転作田の団地化を図り、毎年九十五ヘクタールから百二十ヘクタールの作付面積を、受託栽培しています。

昨年度は、この面積が百十二ヘクタールに及び日本一の栽培面積に及びました。転作団地に入った農家は、国の奨励金や互助金がもらえ、転作作業は、この営農集団が実銭。大豆で収益を上げることにより、転作の団地化率が高められ、機械化一環作業体系による労働力の省力化や水稲に代わる転作物の収益性向上が図られています。

年々技術的には向上しているものの反収が、平均百五十キロと全国的にみるとまだ低い状況にあり、三百キロを目標に良質多収の転作大豆作りで名実ともに日本一を目指して進めています。

## 「へい、お待ち」にぎり寿司で慰問



寿司を食べて長生きしてください。と西北五寿司組合（高橋幸一支部長）の寿司職十四人が、さる十月二十四日特別養護老人ホーム「あしの園」を訪れ、百人前の寿司をお年寄りの前で握り、寿司での昼食をとるにしました。

出前慰問した寿司職人は、西北五組合加盟三十六店舗のうち十店舗のベテラン職人で、百人前の寿司も三十分足らずで「へい、お待ち」。「ワサビ抜きで柔かいネタを用意しました。

栄養もたっぷりですし、ほとんど食べて長生きしてください」と高橋支部長が激励すると、お年寄りもにっこり。心のコもった握りたてのおいしい寿司をゆっくりほおばっていました。

同組合では、毎年西北五の施設を廻り続け今年で九回目。慰問の費用は、各店舗備え付けの「愛の一にぎり箱」の募金で、今回十二万円が集まりました。

この慰問で残ったお金は社会福祉協議会へ寄付しています。

# お宅の防火対策は 万全ですか？

火の取扱いが多くなり、火災の発生が懸念されるころからの時季に備えて、金木消防署(福長勝義署長)では、さる十月二十四日から十一月六日までの十四日間、町内の一般家庭と防火対象物の合わせて約二千軒を巡回し、防火点検を行いました。

火災予防に伴う査察と言われるこの点検は、秋の火災予防運動の一環として行われたもので、町内の半数に当る約二千軒を署員二人一組となり六班に分かれて調査。ガスボンベ、えんとつ、ストーブの取付等、十八項目にわたるチェックリストに基づき、細部にわたって点検しました。

この結果、えんとつにつめ



がね石の取付がなく可燃物に直接熱が伝っている所やガス管が腐食しているのに気付かないでいる所など、極めて危険な家庭が目立ち査察の効果を得ることができました。

また、意外にも消化器を設置している家庭が少い上に配備されても使用方法がわからない家庭が多く、同署では、今後も定期的にこの査察を実施し、防火意識を高めたいとしています。

## 暖かさが恋しい季節です

怖いのは「消したつもり」と「消えたはず」

全国火災予防運動

11月26日〜12月2日

### ●火の用心七つのポイント

- ①寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
- ②子供にはマッチやライターで遊ばせない。
- ③風の強いときはたき火をしない。
- ④天ふらを揚げるときはその場を離れない。
- ⑤家のまわりに燃えやすいものを置かない。
- ⑥風呂の空だきをしない。
- ⑦ストーブには燃えやすいものを近づけない。

## 達者で がんばってマス

泉谷 正義さん(87歳)

明治31年4月21日生

住所 川倉上宇田野

○……坂あがって左側に大きい庭のある家が、マサヨシの家だ。川倉の人が口を揃えて言う。なる程見事な庭だ。

◇……家の兄(義美さん)庭好ギデ、一人でワンツカずつ作ったダネー。ナナカマド実ツコ付けてきれいだべ。あつちこつちガラ石集めテ来て、石バレでもワイサナネ。雪降る前に早く囲いシネバマネし、たき木割ってマネバマネし、忙がしくて。仕事アツテイジャ。

黙って居るのが一番マネ。

根つからの百性で自転車に乗って今でも田んぼを見回りに行くダネ。

小さい頃？。村一番のガキ大将サ。小学校の時、津島文治と一年間机並べたことある。オオヤゲのアンコだドゴデ弱くて、ワネカツテムツタド泣がされたモンダ。泣いで戻れば、親カガ「こらこら、オイのわらしバいじめるなア。仲良く遊べ。」って塩せんべいくれダモンダ。そのせんべいほしくてジャッコ釣りダノ、虫採りに連れて行ったことある。今だばフア(齒)悪く



薪割りに精を出す泉谷さん

てせんべいもカイネグナツ 親子三代三夫婦健在。賽の河原の講中十九人の一人である。○……ひ孫がもうすぐ七人になるという泉谷さんは、孫の佳司さん夫婦を含めてです。



最近の平均寿命の伸びは著しいものがあり、医療技術の進歩と共に健康によせる一般住民の関心の高まりも見逃すことは出来ません。今回は、肥満と食生活の変化が関与し、一種の現代病と言われる胆石症についてお話をします。

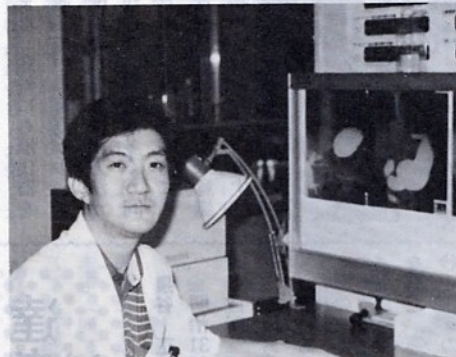
胆石は、その成分としてコレステロール系結石、ビリルビン系結石に大別され最近では胆のうで生じたコレステロール系結石が圧倒的に多くなつて来ています。

胆石症患者は四十〜五十代の女性に多く、初発症状は、右上腹部痛、上腹部不快感、腰背部痛などで、胆石の成長と共に慢性炎症を起こします。また胆石が胆のう入口部に結まると、直ちに急性胆のう炎となり強い上腹部痛を生じます。

これが進行すると、発熱、黄疸、肝機能障害を生じ、重症例では、胆のう蓄膿症

# 金木病院カルテ

## 外科 橋爪 正



から汎発性腹膜炎、敗血症となり、死亡率は極めて高くなります。また、胆石症を長い間放置すれば、胆のうガンの発生を起こしやすいことも知られています。

したがって、胆石症そのものは良性疾患ですが、炎症が起こせば命にも拘わるような疾病となる訳で、早期診断と適切な治療が望まれます。

従来、胆石症は、症状が発生してから初めて診断されるが多かったのです。現在では、腹部超音波検査により全く無症状のうちに見られるようになりました。先日行った集団検

診の結果、約二二〇〇人の検診者のうち四二名の胆石患者が発見されています。さて、胆石症の治療ですが、一センチ以下の小さい結石では、溶解剤の投与により縮小効果を認めることがあります。しかし、多くの胆石症は、溶解療法は無効で、手術療法が治療の基本となっています。

手術は、胆石と共に胆のうを摘出する方法が一般的で、極めて安全かつ確実です。軽症症例では、経過も良好で再発の心配もありません。本年度十月末までに四二例の胆道系手術を行いました。軽症患者の平均入院期間二七日に比べ炎症の強かった患者は四五日に延び、その多くは高令者で占められていました。

胆石症は決して怖い病気ではありませんが、さりとて、手術はいやだからな

どと言つて放つておけば、時にはひどいしつべ返しを受けることになり。四十歳を過ぎた(特に女性の方)は積極的に超音波検診を受けることをお勧めします。

### 今月の星座

十二月下旬、午後五時ごろ頭の真上に見えます。



おうし座

人口と世帯	10月31日現在		前年同月比	
	男	6,824人	—	65
女	7,361人	—	72	
計	14,185人	—	137	
世帯数	3,898世帯	—	4	

**戸籍の窓**  
十月届出

**はじめまして**  
奈都未ちゃん  
9月29日生まれ  
体重 3,350g  
藤 枝  
工藤文久さんの長女

### おめでどう

- 工藤奈都未(文久) 藤 枝
- 澤田 三郎(俊則) 嘉 瀬
- 工藤 倫子(文裕) 藤 枝
- 徳田千由希(誠) 蒔 田
- 笹木 賢一(光彦) 金 木
- 森 麗子(多智也) 金 木

### おしあわせに

- 加藤 憲昭(彰) 稲垣村
- 中谷 真弓(新勝) 川 倉
- 山中 信弘(栄藏) 嘉 瀬
- (西塚 恵(義勝) 五所市
- 成田 昌利(唯良) 喜良市
- 三上喜美代(喜代久) 鶴田町
- 鳴海 伯(善太郎) 嘉 瀬
- 光井江理子(克三) 鶴田町
- 秋村 春彦(繁太郎) 嘉 瀬
- 黒沼美智子(留吉) 金 木
- 野呂 邦彦(喜代則) 木造町
- 山中 幸子(伊次郎) 嘉 瀬

### おくやみ

- 中尾 芳隆(昭治) 五所市
- 大橋 郁子(和夫) 金 木
- 斉藤 隆己(勤七) 木造町
- 中谷多賀子(不二吉) 川 倉
- 白川 正(久夫) 蒔 田
- 堀内 敏代(敏正) 五所市
- 小松 博文(良一) 嘉 瀬
- 及川千嘉子(金治) 青森市
- 山中 松実(文藏) 嘉 瀬
- 杉山むつ子(繁美) 中里町
- 松川 雅行(万之) 嘉 瀬
- 今野 猶子(武) 小泊村
- 蓮濁 裕文(裕) 北海道
- 黒川真喜子(弘子) 喜良市
- 三上 クリ (90) 嘉 瀬
- 古川 タキ (82) 金 木
- 白川 長吉 (75) 川 倉
- 竹内 マル (77) 金 木
- 藤本 トシエ (42) 喜良市
- 鳴海 きね (65) 金 木
- 斉藤 チヤ (71) 嘉 瀬
- 田中 トミエ (58) 金 木
- 土岐 タミ (84) 嘉 瀬